

# Heroldo de HEL

N-ro 56 1995 februaro—marto

ORGANO DE  
HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

## 北海道エスペラント連盟

053 苫小牧市糸井393-83 星田 淳 方  
HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO  
Ĉe Acuŝi HOŜIDA  
Itoi 393-83, TOMAKOMAI  
053 Japanio

### ENHAVO

HEL DANKAS(-os) POR VIA KOTIZADO  
会費のお礼

ŬATANABE Ŝindoo 渡辺晋道 2

KUNVOKO POR LA TRIA KOMITATA KUNSIDO DE  
HEL

第3回HEL委員会のお知らせ

ŬATANABE Ŝindoo 渡辺晋道 2

Rilate al Esperanto troviĝas la libroj  
en urba biblioteko

札幌市立図書館でのエスペラント本蔵書

Emiko BABA 馬場恵美子 3

Recenzo de libreto "Ne Tiel Sed Ĉi Tiel"  
小冊子~そうしないでこうしてください

-視覚障害者との接し方-ヘルマン・ワッ・デイク著~

Emiko BABA 馬場恵美子 3

Ĉe la Novjara Kurso de HEL

--Diskuto ankaŭ pri Tradukado

HEL新年講習会にて

--翻訳のあり方についても討論

A. HOŜIDA 星田 淳 4

INVITILo POR KUNLOĜADO

95年 第8回北海道エスペラント合宿の  
お知らせ

ŬATANABE Ŝindoo 渡辺晋道 6

(申し込み用紙は折り込み。資料は8~11頁)

S-ro Kan Sueharu kaj Esperanto

菅 季治とエスペラント~北海道新聞から

12

Lernado 学習の頁

Mituisi K 三ツ石 清 13



Generala kunveno de Sapporo Esperanto  
Societo

札幌エスペラント会総会

Emiko BABA 馬場恵美子 14



Novaĵo pri Sapporo Esperanto Societo

札幌エスペラント会近況

Emiko BABA 馬場恵美子 14



S-ro Rihei NOMURA, la kompilinto de  
ZAMENHOFA EKZEMPLARO, kondolencas pro  
S-ro MAKI

[ザメンホフ文例集]のS-ro 野村里兵衛から  
の弔文(pro S-ro MAKI)

A. HOŜIDA 星田 淳 15



RICEVITAJ POŝTAJOJ DE HEL

HEL受領印刷物

A. HOŜIDA 星田 淳 16



Korektoj(N-ro55) 前号訂正

16



El redaktejo 編集部から

1995年の合宿日程が、7頁のとおり決まりました。ご都合が悪く参加できない方も、11頁の作文練習はぜひやってみてください。

10頁の朗読発表会テキスト例(左側に散文2例、右側に詩2例)を声に出して読むのも良い勉強になると思います。もちろん参加者は、当日、このテキスト例以外の自分の好きな文章や詩をお読みになる方が楽しいことと思います。

これまで検定を受けたことのない人はまず4級挑戦を!(実は私も試験は苦手です。今年もこれまで逃げていたんですが、今年も受けるつもり。まず勉強しなくては)

(Ejko Abe 阿部映子)

★ 会費のお礼 : HEL DANKAS(-os) POR VIA KOTIZADO ★

HELの会計年度は、規約の上では暦年（1月1日～12月31日）となっておりますが、道大会の日程の都合上、慣例的に8月31日を決算日とする会計報告を行っています。

94年9月の道大会で決議された事業は、95年分の事業でありますし、本年は95年ですので、皆様の95年分会費の振込みをお願いいたします。

なお、振込みの際は、振込み内容と電話番号をご記入ください。

☆ ☆ ☆ ☆

95年1月11日～3月24日の間に下記の方々から、94年分会費をいただきました。ありがとうございました。（敬称略）

[94年分会費] 大関健志 伊藤直樹

☆ ☆ ☆ ☆

95年3月24日現在、下記の方々から95年分会費、並びに家族会費をいただいています。ありがとうございます。（敬称略）

[95年分会費]

阿部映子	後藤義治	山本昭二郎	小林貴美子	吉原正八郎	江口音吉
児玉広夫	渡辺康子	宮岸忠孝	桜井甚吉	小熊鉄一	馬場恵美子
坂下正幸	星田淳	藤巻謙一	影浦英明	山岸悦子	赤倉正治
二郷美砂子	岩崎泰夫	柴田智美	大原喬	末沢邦夫	港利子
新田為男	大山口誠	濱田國貞	高橋達治	須藤昭三	渡辺晋道

（以上は、ヘロルド55号に掲載分の再掲載です）

三ツ石清 山下博子 伊藤直樹 小川己久雄 金森美子（以上35名）

[家族会費] 星田文子 影浦泰子（以上、再掲載）（以上2名）

なお、アリマヨシ丸氏は1月に死去されましたので、御遺族へ95年分会費をお返ししました。

ŪATANABE Sindoo raportis

★ 第3回HEL委員会のお知らせ ★

KUNVOKO POR LA TRIA KOMITATA KUNSIDO DE HEL

下記により、第3回委員会を行いますので、委員の皆様のご出席をお願いいたします。なお、委員以外の会員の皆様のご出席も歓迎いたします。

日時：95年5月28日15：00より（合宿終了後）

場所：岩見沢市 法然寺

議題：ヘロルド編集、大会計画、講師育成準備会、その他

## 札幌市立図書館でのエスペラント本蔵書

Rilate al Esperanto troviĝas la libroj en urba biblioteko

札幌市立図書館（市内9カ所）はオンライン化されており最寄りの図書館で必要に応じて自分の手で照会・検索して貸出を受けることが出来る。ために「エスペラント」で検索してみると次の図書が現われた。（2月26日現在）

（書名／著者名／出版社）

- \*エスペラント国周遊記/出口京太郎/朝日新聞社
- \*エスペラント捷徑/小坂狷二/日本エスペラント
- \*エスペラント小辞典/三宅史平/大学書林
- \*エスペラント常用6000語/後藤齊/大学書林
- \*エスペラント日常用語活用辞典/野村理兵衛
- \*エスペラントの父ザメンホフ/伊東三郎/岩波書店
- \*エスペラントの話/三宅史平/大学書林

- \*現代日本文学大系1 エスペラントの話/筑摩書房
- \*エスペラントの歴史/エドモン・プリバ/理論社
- \*エスペラント4週間/大島義夫/大学書林

そして今度は「ESPERANTO」で検索してみると

- \*ESPERANTO-ENGLISH DICTIONARY/M.C.BUTLAR/  
BRITISH ESPERANT

さて札幌市ではリクエストの形で市民から図書の購入をお願いする事も出来る。公立図書館に他の言語と共に本棚に並ぶことも一般市民の眼に触れる事でひとつの普及になるのではないのだろうか。（馬場 恵美子）

### 小冊子 ~そうしないで こうしてください

—視覚者障害者との接し方— ヘルマン・ツィエリ著  
Recenzo de Libreto "Ne Tiel Sed Ĉi Tiel"

この小冊子は全30ページで視聴覚障害者との接し方を綴ったものです。元々は同氏によりオランダ語（原著）で書かれたものでした。

エスペラント版(Ne Tiel Sed Ĉi Tiel)はこれをJ・コーニング氏（同国）がソビエト在住の文通者のために1979年に作った点字の版でした（その文通相手がウクライナ語版訳者です。）エスペラント版はコーニング氏とアムステルダム大学の学生エスペランティスト達と共同訳で出版することが出来ました。

日本語版はエスペラント版からフランクフルト大学眼科教授の眞壁祿朗氏が翻訳し日本の生活習慣に合わせて編集、多方面の協力を得て今年1月発行されました。

盲人や目の良く見えない方に出会った時に何か手伝えないかと思うことがあります。しかし声を掛けて良いものかタイミングをつかめず何も出来なかったり、逆に苦痛を与える結果になったり...外国人と出会ってドキドキしている？ことと大差は無いようです。例えば荷物を少し背の高い人が棚にあげるのを手伝うようなそんな接し方がごく自然に付きあっている第一歩なのではと思います。

請求は1部につき80円切手3枚同封の上

〒178 東京都練馬区大泉町2-55-8

エスペラント国際情報センター

（馬場 恵美子）

# HEL 新年講習会にて -- 翻訳のあり方についても討論

Ce la Novjara Kurso de HEL

-- Diskuto ankaŭ pri Tradukado

A. HOŠIDA (Tomakomai)

En la 22a de januaro ni havis novjaran kurson de HEL en Sapporo. Laŭplane ni legis kelkajn partojn de "La lukso de la mortintoj", esperantigita teksto de la novelo "死者の奢り" de OOE Kenzaburoo, Nobel-premiito. Aperis diversaj opinioj pri la enhavo kaj tradukarto.

予定通り1月22日開催。読んだのはHeroldo de HEL N-ro 54 のP10~11にある5カ所。いろいろおもしろい意見が出た。

\*Postmilita Japana Antologio のP185,下から5-4行 "Niaj plandumoj --"

-原文の「濡れた靴底」はどう訳されている？

-「濡れた」はないようだね。

-意識的に落とすことがあるかな？

-さあ、そんな必要ある？

\* P185, ĉe la lasta linio: "kaj fine troviĝis pordo, sur kiu --"

-「とうとう--看板の出ている部屋にたどり着いた--」というわけ？

-原文は「突き当たりのドアに--木札がつけられてあった」だ。

- "ĉe la fino de (または "fine de) la koridoro"の方がわかりやすすくないか？

\* P186 の2行目, "lasis grandan ŝlosilon ĉe la koridoro,"

-これ、廊下に鍵を置いたの？

-さあ、床や机に置いたなら sur ~n になりそうだし-

-原文は「ドアの鍵穴に--差し込んだまま」だな。

-enmetis la ŝlosilon en la truon -- とかがこの前にあればわかりそうでは？

-でも ĉe la koridoro かい？ ĉe la pordo のほうがわかるんでないか？

-ここはもっとわかりやすくできるんでない？

\* P186 の4行目 "higienan maskon"

-この higienan は要るのかな？

-maskoは本来「仮面、顔を隠すもの」だから、こうしないと理解されないのではないかな？

-マスクといえば口と鼻だけを隠すものを考えるのは japanismo のようだね。

\* P197, 19行目 "-Mi kreskadis, ---"

-原文の「、と僕は考えた。」は訳文にないね。

-ない。ここは対話だから抜けても意味はそう変わらないのでは？

-しかし原文に忠実ではない。訳者が自分の解釈で抜かしたり変えたりしてはいけない。

\*P211下から10行目 "miskompreno flanke de la oficejo":

-原文(事務室の手ちがい)から見ると、簡単に "miskompreno de la oficejo"

でいいようだが--

-この訳文のほうが、状況をはっきり出しておりわかりやすいと思う。

\*P211最後の行 "novan alkoholaĵon": 原文「アルコール溶液」

-これは原作者の理解の問題だが、誤解があると思う。死体をつけておく水槽にアルコール溶液

は使わない。この作品のはじめに「濃褐色の液に浸って」とあるが そうなるのは石炭酸です。

—アルコールでは蒸発してしまいそうだし変だと思った。

—その通り。アルコールなら蒸気で酔っぱらってしまい仕事にならないはずだ。

\*P212;2行目と 8行目の“kadavroj”

—助教授は“la”をつけ、管理人はつけてないのはなぜ？見落としか？

—“la”といえば相手も「あれ」と了解できるとき、“la”は使われる。この場合この2人に共通の理解ができてないのでないだろうか？

—そうだな、助教授は「あの古い、役にたたん

死体」と考え、管理人はそう認めたくない。“la”の有無にその理解の食い違いがあらわれていることになるのかな？

-----  
なお、以上の件について訳者、S-r o 柴山から次の通信がありました。(1月28日付)

文書名：Dankon pro la komentoj.

Mi detale legos viajn komentojn. Cetere, mia originala traduko estis foje modifita de la redaktantoj (s-ro Konisi ?) Tial ne tiu estus mia vorto. Mi ne jam havas tiun mian originalon. Do, kun la libro, mi denove cerbumos.

/Sibayama

★ ESPERANTO T-ĉemizo

白地に緑の★ ESPERANTOの文字の入ったTシャツ サイズはS, M, Lの3種類。

1枚郵送料込みで、1,750円

申し込みは、

「001 札幌市北区北12条西1丁目  
北12条パークMS602 阿部映子」まで



料金はシャツが届いてから  
お支払下さい。

世界大会へ着ていってはいかかですか？



# INVITILLO POR KUNLOGADO

95年 第8回北海道エスぺラント合宿のおしらせ

合宿の場所を岩見沢に移して、3年目になりますが、今年も、岩見沢市の法然寺で行います。今回も、事前の学習が必要ですので、皆様の予習しての参加をお待ちしています。

## 概要

[期日] 5月26日(金) 16:00(準備) ~ 28日(日) 15:00(清掃)

[会所] 浄土宗 法然寺(ほうねんじ) 〒068 岩見沢市1条東6丁目

TEL 0126-22-3091 (話し中のとき 24-6639)

駅より東へ1km、徒歩15分。札幌からはS切符がお得です。

[参加費] 受講料の他に、貸布団代、などがかかります。当日、お払いください。

(受講料) ・全日参加2,500円 ・2日間2,000円 ・1日のみ1,500円

・高校生以下 無料(必ず年齢を記載ください)

(学力検定料) 未定(昨年は、3級=2千円、4級=千円でした)

(バンケード) 3,500円(小学生以下2,000円。法然寺にて)

(貸布団) 1,200円(一晚)

[フロ] フロは近くの銭湯をご利用ください。

[食事] 食事は、セブンイレブン、近所の食堂、宅配のまとめ注文をご利用ください。

朝食弁当(600円) 希望者へは、予約も受け付けます。(当日申込取消不可)

5条東11丁目 セブンイレブン (徒歩700M)	5条東10丁目 こけし食堂 日休 4条通り	5条東7丁目 日の出湯 コーヒーショップ 日休 かまた屋(そば) (徒歩400M)	←フロ パチンコ 銭湯	5条東5丁目 4条通り
--------------------------------	-----------------------------	----------------------------------------------------	-------------------	----------------

弁当屋 不二	アソビイ	キッド スポーツクラブ 2条通り	コスモ石油 原田商店 (徒歩300M)	軽食喫茶 日休 2条通り	東 4 丁 目
--------	------	------------------------	---------------------------	-----------------	------------------

### 宅配店の紹介

恵揚(お昼、水休、AM11~PM8)\*おすすめ店\*

ラーメン、うどん、丼物、チャーハン、カレー、ギョウザ

400円より 24-8463 北本町西1丁目

豚丼のおた吉(日休)750円より 25-9560 1条西1丁目

ビザ10.4 1000円より 25-7711 2条東1丁目

田子作(天丼、すし、うどん) 1300円から1500円位より

24-0100 3条東1丁目

朝食弁当の予約は、法然寺渡辺まで  
申込下さい。(当日申込取消不可)

2条東6丁目 グラント	2条東5丁目 岩見沢小学校 1条通り (1KM、徒歩15分) → 駅	焼肉 鎌倉 東漸寺	1条東6丁目 ★ 法然寺 ルンビー保育園 看板が出ています
----------------	------------------------------------------	--------------	----------------------------------------

[申し込み方法] 申し込み用紙に記入の上、5月20日必着で下記にお送りください。

〒068 岩見沢市1条東6丁目 法然寺 渡辺晋道 宛

[日程]

	6a	7a	8a	9a	10a	11a	12a	1p	2p	3p	4p	5p	6p	7p	8p	9p	10p	11p	12p
26日 (金)												準備	フロ	夕食	開試	プログラム①	自由	消灯	
27日 (土)		起床 掃除	朝食	プログラム②	プログラム③	昼食	プログラム④	プログラム⑤				フロ	パンケード 6:30 ~ 燃灯					消灯	
28日 (日)		起床 掃除	朝食	プログラム⑥	プログラム⑦	昼食	プログラム⑧		閉講式	清掃	解散								

開講式 : [自己紹介、オリエンテーション]

プログラム①: [パピラード、ゲーム] ゲームをお持ちの方は、紹介してください。

プログラム②: [LERNI PER LUDOS、コミュニケーションゲーム] 資料をご覧ください。

プログラム③: [作文添削指導] 資料の課題文を必ず予習してきてください。

プログラム④: [AMUZA TEMPO] ボルトモザイク、カンターロをお持ちの方は、持参してください。

プログラム⑤: [朗読発表会] エスペラント語を人前で読む練習です。5分程度ずつ、全員にお願いします。文通相手への手紙文、作文(散文、詩)、翻訳文(同)の朗読、または、E作品(詩、散文の一部)の朗読をする方は、原稿を用意してください。当日、コピーして全員に配ります。  
発表文の添削を希望される方は、星田淳氏へ相談してください。  
適当な材料が見つからない方は、資料の課題文から選んで下さい。日本語での説明の準備もしてきてください。

プログラム⑥: [検定特訓コース] 検定を受けない方も一緒に勉強しましょう。

プログラム⑦: [J E I 学力検定試験、3、4級] 全員、挙って受けましょう。  
受けない方は、感想発表の作文をする時間です。

プログラム⑧: [合宿感想発表会] 全員にお願いします。

閉講式 : [受講証書授与] 94年の合宿、95年の新年講習会を受講された方は、今回で3枚目になります。3枚ためた方へは、記念品が送られます。  
なお、受講証書は再発行していません。

[主催] 北海道エスペラント連盟 [連絡先] 同事務局(馬場恵美子 TEL011-761-8060)  
(役員) 講師; 星田淳. 資料編集; 阿部映子. 渉外; 馬場恵美子. 会計; 渡辺晋道

プログラム資料 以下②⑤③



## ゲームによる授業例

**学習目標**●コミュニケーション機能：好き嫌いについて質問・表現する。文法：特に動詞 *ami* に続く名詞目的語と目的語相当の不定詞句。単語：下記のリストを参照。

**レベル**●初級

**クラスの規模**●5人から10人

**授業時間**●1時間半程度

**授業の準備**●次のような表現を15ないし20例ほどリストしたプリントを用意する。

Ĉu vi amas...

1. aŭskulti pop-muzikon?
2. horor-filmojn?
3. danci?
4. blatojn?
5. esti sola?
6. alkoholaĵon?
7. viziti diskotekon?

...

プリントにはさらに、上記の各質問に対する答え (Jes/Pli-malpli/Ne など) を書き留める欄を作っておく。

以下、クラスには5人の生徒がいるものと想定して授業の概略を示す。

### ゲーム1 ● Zamenhof-ludo<sup>(1)</sup>

学習する単語や表現を繰り返し聞き、かつ発音することにより覚えるゲームである。

まず上記リストより5つの表現を黒板に書き出し、意味の説明と簡単な発音練習をする。次に、各生徒に1つずつ表現を割り当て、次のパターンにしたがってゲームを進める。なお、このゲームでは、講師は最初に1度発話するだけである。

I (=instruanto) : Zamenhof amas esti sola.



L (=lernanto) 5 : Ne, Zamenhof ne  
amas esti sola, sed li amas aŭskulti  
pop-muzikon.

L1 : Ne, Zamenhof ne amas aŭskulti  
pop-muzikon, sed li amas horror-  
filmojn.

つまり、生徒は自分の受け持つ表現を他の生徒が使ったときそれを打ち消し、別の生徒が担当する表現に置き換えるわけである。ゲームを活気づけるため、これをできるだけ早く行う。また、講師はその間、先に黒板に書き出した表現を少しずつ消していく。黒板になにも書いてない状態となり、生徒の口もすべらかになったところを見計らって次の5つの表現に移り、これまでの手順を繰り返す。

#### ゲーム2 ● Ĉen-prezentado<sup>(2)</sup>

生徒が円形に座り、まず1人が名前と自分がなにを好きか（事実でなくてもよい）を述べる。次に、右隣の生徒がいま自己紹介した生徒の名前と彼/彼女がなにを好きかを繰り返し、次いで、同内容の自己紹介をする。

L1 : Mia nomo estas YAMADA Kunio,  
kaj mi amas horror-filmojn.

L2 : Tiu estas s-ro YAMADA Kunio,  
kaj li amas horror-filmojn. Mi estas  
NAKAMORI Akiko. Mi amas esti  
sola.

L3 : Tiu estas s-ro YAMADA Kunio.  
Li amas horror-filmojn. Kaj tiu estas  
s-ino NAKAMORI Akiko, kaj ŝi  
amas esti sola. Mia nomo estas  
SIINA Sakura, kaj mi amas blatojn.

5人目の生徒は他の4人の名前と好みのすべてを繰り返した上で、自己紹介しなければならないことになる。これを数回繰り返す。

#### ゲーム3 ● インタビュー

厳密な意味ではゲームとはいえないが、上記2つのゲームによって慣れてきた表現を用い、生徒が互いに質問し合う活動である。ペアを作り（今のように生徒の数が奇数の場合は講師も参加する）、リストにある質問を交互に交わし、相手の答えを記録する。プリントにある順序ではなく、相手に1番聞いてみたいことから順に質問していくのがよいかもしれない。

#### ゲーム4 ● 発表

これも厳密な意味ではゲームではない。上のインタビューの結果を1人1人がクラスで発表し、パートナーの好き嫌いを紹介する活動である。すべての項目についてはなく、パートナーの人柄を表しているような答えを選んで発表するのがいいだろう。

(1) Ramiro Garcia, *Instructor's Notebook: How to Apply TPR for Best Results* (1988, 2nd ed.) に紹介されている Pancho Carrancho というゲームの応用で、こう名付けてみた。さまざまな語彙の導入時に使える優れたゲームである。なお、書名にある TPR とは、Total Physical Response の略で、身体全体を使ったアクションを軸に行われる教授法の1つ。

(2) C. Frank & M. Rinvolucri, *Grammar in Action: Awareness activities for language learning* (1987) に紹介されている True names and false professions というゲームのバターンにしたがった。これも語彙の導入時に応用がきく。  
(RO 1989 sept. の S-ro  
北沢久の文を借用しました)

ĈIAM MALFRUE

Marko dormis matene tre longe.

Kiam li vidis la sunon, subite li eksaltis. Ĉiam li malfruas kiam li devas iri al la lernejo. Li scias ke la instruistino malŝatas tion.

Sed hodiaŭ li ne volas malfrui. Li rapide metis la vestaĵon. Rapidege li trinkis la kafon. Poste kun la libroj en la mano li kuris kaj saltis laŭ la strato. La homoj rigardis lin kaj diris: "Kia malsaĝa knabo!"

Baldaŭ li estis antaŭ la lernejo. Li volis eniri en la lernejon, sed li ne povis. Ĝi estis fermita. Li vidis nek instruiston nek gelernantojn.

Li eksidis antaŭ la lernejo kaj pensis: kio okazis?

— Diable, nun mi memoras! Hodiaŭ estas dimanĉo!

La feino.

Unu vidvino havis du filinojn. La pli maljuna estis tiel simila al la patrino per sia karaktero kaj vizaĝo, ke ĉiu, kiu ŝin vidis, povis pensi, ke li vidas la patrinojn; ili ambaŭ estis tiel malagrablaj kaj tiel fieraj, ke oni ne povis vivi kun ili. La pli juna filino, kiu estis la plena portreto de sia patro laŭ sia boneco kaj honesteco, estis krom tio unu el la plej belaj knabinoj, kiujn oni povis trovi.

Ĉar ĉiu amas ordinare personon, kiu estas simila al li, tial tiu ĉi patrino varmege amis sian pli maljunan filinojn, kaj en tiu sama tempo ŝi havis teruran malamon kontraŭ la pli juna. Ŝi devigis ŝin manĝi en la kuirejo kaj laboradi senĉese. Inter aliaj aferoj tiu ĉi malfeliĉa infano devis du fojojn en ĉiu tago iri ĉerpi akvon en tre malproksima loko kaj alporti domon plenan grandan kruĉon.

ALTEN ALTEN MALPROKSIMEN

Alten alten malproksimen  
flugas birdo kun fervor',  
tirpe kante jen senlimen  
alaŭdeto flugas for!

Ĝin atendas jen avide  
ĵidoj en surtera nest'.  
Jam revenu ĝi rapide  
tra la aer' per brava gest'.

Ĝi alportu al la karaj  
ion vivan el senlim';  
krias buŝoj jen avaraj,  
la birdidoj en ĝojtrem'!

VELGA

Malafabla estas nordo ...  
El la spaco malproksima  
Fluas al ŝtonoza bordo  
La glacia mar' senlima.  
Dormas la naturo morta ...  
Neg'... glacio ... kaj neniam  
Ĉesas blovi vento forta ...  
Kvazaŭ regas tie ĉiam  
Frosto en la tuta mondo ...  
Sed subite en silento  
Super griza plumba ondo,  
Tra malvarma frosta vento,  
Ekaŭdiĝas kri' de l' mevo ...  
Jen ŝi flirtas en aero,  
Nekaptebla, kiel revo,  
Jen rapidas ŝi al tero,  
Jen en maro malaperas ...  
Ŝi sopiras, ŝi suferas, —  
Kaj per sia ploro-krio  
Kvazaŭ plendas ŝi al Dio ...  
Min turmentas tiu plendo, —  
Kaj sub bruo de la maro  
Mi rakontos pri legendo  
De la norda loĝantaro ...

\*\*\*

## 作文練習 (いろいろな表現・間違いやすい表現の練習)

次の日本語をエスペラントにしてください。これは学習のヒントをもらうために試験ではなく、採点もしません。氏名記入も不要。わかるところで結構です、間違っても(?)は気にせず書き込んで出してください。

- \* A. そこへ行ってはだめよ。
  - B 1. うん、行かない。
  - B 2. いや、行くよ!
  
- \* A. あの本、面白かった?
  - B 1. うん、あの事件の背景(いきさつ、詳細、など)がよくわかるね。
  - B 2. うん、あのラスト(結末)には笑えるね。
  
- \* A. 例会は何時からですか?
  - B. 午後6時からです。
  - C. この会(societo, klubo, grupo など)では初等講習を開いていますか?
    - B. 毎年春に開きます。  
今年は5月22日からです。
    - A. 今年の北海道エスペラント大会はいつですか?
      - B. ①9月末です。  
②9月30日~10月1日です。  
③9月の最後の日から10月の最初の日にかけて行われます。
  
- \* A. いいアパート見つかったかい?
  - B. うん、ちょっと狭いけど、まあまずまずだね。
    - A. 我慢できるってわけ?
      - B. まあ一応気に入ってるんだ。
  
- \* A. あなたの町(市)の人口はどのくらいですか?
  - B 1. 約150万人です。
  - B 2. 16万人です。
    - C. (Libroservo で)「動詞100(CENT ESP-AJ VERBOJ)」ありますか?
      - A. 今ありませんが午後入るはずです。

はるかなシベリア

第2部

# 魂をわられた



多田 茂治さん

菅季治(かん・すえはる)の遺稿集「魂をわられた」の中に「エスペラント語入門」という章がある。

■ 戦後の夜、カラガンダ収容所の食堂で、「学友同好会」を主宰する菅は、講師に頼み込んで話を聞かせるが、下は「わたしの愛するエスペラント語」について話す機会を与えなかった菅さんに感ずし「と聞きし、講義を三時間は聴いた。最後には「エスペラントの語」を三回歌う。その聲んだ声を菅は学友の愛するものと感じた。



「戦争と人間」を長く問う十三部 疎開—東京・中野

中央ソソの五部として「ゲリで、目的に絶望する入の客に人間の尊厳を見守るがするが、この話に登場するとは陸軍教育隊出身の西野武一のことだ。カラガンダからハバロフスクに移送され、菅も四年経ち九五三年に捕虜したが、わずか一年で病死した。

■ シベリア体験といつたエッセイ「望郷と海」など知られる詩人の石原昌也は、ハバロフスク収容所で「持った西野の死を「狂気のまじり身」の酷いのは「急死であった」と書いた。その石原自身も四年、ラーゲリでの海唇に落ちた記憶をいふ。過量の飲酒で精神的

だが今しばらくは生きねばならない。  
そして、だまって考えよう。  
冷えしぼんだ魂を自分であたためさずりながら。

1949年12月  
7日の日記

菅季治 語録

これは、北海道新聞に連載されたシベリア抑留関連記事(2月26日)です。菅季治氏は収容所内で通訳をつとめたことから、帰国後国会で証人となり、最後は自殺しましたが、木下順二氏の戯曲「蛙昇天」はそのことを元にしてしています。最近では舞台にかかるとは思いますが、戯曲集などで読んでみてください。

## 風化させはしない

■ 昨年の夏、七三三 露参観展を見た。「十五年戦争における日本の加害と被害の代表的な証書」として、戦争では、多くの兵士たちが、ある局面では加害者となり、ある局面では被害者となつて、人間性を喪失せざるを得ない。特に、やましい人たちは、加害、被害の両面で深い傷を負わなければならない。

■ 一九八八年に発表されたソソフ作家の人工的な国語、ゲルマン語、スラブ語などの国際共通性の高い単語を基本とする。又編纂は菅治で、一九六三年(明治三十二年)には日本エスペラント協会が設立された。戦中、戦後に抑留を受けた。

■ 菅季治(かん・すえはる)の遺稿集「魂をわられた」の中に「エスペラント語入門」という章がある。

■ 戦後の夜、カラガンダ収容所の食堂で、「学友同好会」を主宰する菅は、講師に頼み込んで話を聞かせるが、下は「わたしの愛するエスペラント語」について話す機会を与えなかった菅さんに感ずし「と聞きし、講義を三時間は聴いた。最後には「エスペラントの語」を三回歌う。その聲んだ声を菅は学友の愛するものと感じた。

■ シベリア体験といつたエッセイ「望郷と海」など知られる詩人の石原昌也は、ハバロフスク収容所で「持った西野の死を「狂気のまじり身」の酷いのは「急死であった」と書いた。その石原自身も四年、ラーゲリでの海唇に落ちた記憶をいふ。過量の飲酒で精神的

戦争の世代だ。國家の長男がソ連に抑留され、その苦い妻が夕暮れ、裏庭にたずさへ近く愛を何度も見たことが忘れられない。

九州大でマルクス経済学の方坂道門下に入る。学内は左翼的な風潮が強く、ソ連共産主義的な風潮に思えた。卒業後、北九州で新聞記者、総務が発行した新聞の編集スタッフ、女性週刊誌の記者(ランカー)などを経て立ち上りながら小説やノンフィクションを書いてきた。

■ 菅季治(かん・すえはる)の遺稿集「魂をわられた」の中に「エスペラント語入門」という章がある。

■ 戦後の夜、カラガンダ収容所の食堂で、「学友同好会」を主宰する菅は、講師に頼み込んで話を聞かせるが、下は「わたしの愛するエスペラント語」について話す機会を与えなかった菅さんに感ずし「と聞きし、講義を三時間は聴いた。最後には「エスペラントの語」を三回歌う。その聲んだ声を菅は学友の愛するものと感じた。

■ シベリア体験といつたエッセイ「望郷と海」など知られる詩人の石原昌也は、ハバロフスク収容所で「持った西野の死を「狂気のまじり身」の酷いのは「急死であった」と書いた。その石原自身も四年、ラーゲリでの海唇に落ちた記憶をいふ。過量の飲酒で精神的

戦後50年

名古屋。三ツ石 清

一昨日、冬山の完全装備スタイルで、ザックもわざと重くして、耐寒訓練をかねて、いささか心理学で言う代償満足に近いが、雪はないのでスパッツこそ付けないが、市内の標高130mの森に奥深く入林して、バーナーで、うどんを煮て、コーヒーを沸かした。

さいわい陽光が漏れてきて、暖かい。入林目的、全然、読んでいなかった、RO誌の文芸特集、日本大会文芸コンクール作品などをじっくり精読した。日が暮れるまで。読後の印象、すべての作品に、内容、物語は楽しく読めた。エスペラントの作品としての出来映え(文章)にも、その立派さに感動した。いままで読まなかった愚かさを悔むだ。

。以下の手紙は、清水(JEI語学委員)、柴山(文芸号、編者、選者)、野村(名著、ザメンホフ用例集編者)の3者に宛てたものです。返信が楽しみ。皆さんも考えて下さい。 m



Sinjoroj, Nomura R, Nagaoka Z,  
Simizu K, Sibayama Z,  
1995-01-24  
Nagoya, Mituisi k

miaj estimataj karaj sinjoroj,  
mi havas peton al vi.  
vi volu min respondi pri jeno.

temas pri uzado de KIEL en  
"La Faden de la aranejo" sur  
RO (sept. 1993). en pago 32,  
meze. oni legas "Liaj spertoj  
kiel rabisto multe helpis lin".  
laŭ mia ideo ĉi tio devas  
esti "liaj spertoj de rabisto".  
oni ofte emas skribi "la devo  
kiel flegistino", sed mia opinie  
ĝi devas esti "la devo de fleg-  
istino". pri mia opinio,  
kiel vi opinias?

Esuperantisuto tosite no  
Isaosi=La merito de esp-isto,  
ĉu ne?  
en PIV, Zamenhofa ekzemplaro,  
kaj aliaj verkoj mi serĉas la  
uzadon de "tipo" la sperto kiel  
rabisto", sed mi ne trovis.

ankaŭ en angla lingvo mi stud-  
is la uzadon de "as" kaj "of",  
sed, ho ve, mi estas maltalenta  
pri la lingvo.

se vi bonvolus min respondi,  
vi volu simple, mallonge skribi  
, mi petas. antaŭdankon!

tute via mituisi k (m)

ps: mi ne havas ideon urgi vin  
tuj respondi, sed volu simpatii  
la lernemon de mi, maljunulo.

## 札幌 Esperanto 会 総会

Generala kunveno de Sapporo Esperanto Societo

馬場 恵美子

2月25日札幌市職員会館において総会が行われた。

児玉広夫会長より「貴重な勉強会の時間を総会に当てたのだから有意義な時間としたい。」

会計報告（金森美子）では貸付信託が満期となり従来からの預金と合わせた残高が報告された（今後複数の定額預金とする）現在個人名義になっている通帳を会の名義に変更する。バザー収入による外国人接待費の報告（二郷美砂子）ではロルフ（スイス）、ドロシー（アメリカ）バンドゥ（オーストラリア）3名のエスペ란ティストの来札費用がSESの会計から支出された。現在会費は年額¥3,600と¥6,000で本人の希望により選択できる。会員は20名。会費の殆どは講習会の部屋代等に使われているが、講習会に参加出来ないものと会費を区別した方が良いのではという意見が出された。（講習会の会場が後1年で使用出来なくなるが安価で使用できる現在収支が安定しているのならばそのままとして、来年度以降考えていく）

討議事項としては札幌市国際交流プラザの入会は見あわせる。学会からのビデオの購入は保管の問題も考えて5月の連盟が合宿で見てからとする。

役員の変更では児玉会長が退任し、会長は置かず幹事の形で世話係が決められた。金森・二郷・渡辺康子・瀬川綾子・馬場のほか新たに小林貴美子、山岸悦子（会計監査）が選ばれた。

外国人エスペ란ティストの対応は無理をしない程度として宿泊は大本教の施設などを利用することも考えることとした。

会の住所は馬場気付けとする。

参加者11名。

## 札幌 Esperanto 会 近況

Novaĵo pri sapporo Esperanto Societo

馬場 恵美子

★3月11日京都へ旅立つ谷口敦彦氏の送別会が職員会館で行われた。歌・ゲームなどで送別し会から記念の辞書が送られた。その際新潟長岡市から小熊鉄一氏が参加。小熊氏は昨年からは同市に単身赴任の生活で札幌には3ヵ月ごとに帰省しているとのこと。

★家族の勤務によりオーストラリアで生活していた末永章子さんが此の4月北海道に帰ってくる予定。先日ご挨拶の手紙と共にカンガルージャーキー（乾燥肉）を御馳走になりました。現地でもエスペ란ティストと交流をもっていた彼女の活躍が楽しみです。

★現在講習会は3つ。

\*月2回木曜午後1時から会話中心。

\*毎週土曜午後1時からテキストは LA FORTO DE L' VERO.

\*毎週土曜午後3時からテキストは LA SANKTA BIBLIO.

いずれも会場は札幌市職員会館。

(TEL011-621-0156 大通西19丁目)

テキスト・内容の照会については馬場まで。

(TEL 011-761-8060 夜8時以降)

S-ro Rihej NOMURA, la kompilinto de ZAMENHOFA  
EKZEMPLARO, kondolencas pro S-ro MAKI  
「ザメンホフ文例集」の S-ro 野村理兵衛 からの弔文 (pro S-ro MAKI)

A. HOSIDA (Tomakomai)

Zyôhana, 26.1.95

Estimata samideano!

Via malĝoja sciigo pri la morto de S-ro Maki Toŝihiro forte malĝojigis min, kaj ĝi samtempe revokis en mia animo malnovan rememoron pri li, kiu tiel energie laboris por nia movado. Mi tre bedaŭras, ke ni perdis multon per lia morto.

Mi mem jam atingis la aĝon 87-jaran. Kvankam laŭ la vortoj de kuracistoj mi ankoraŭ havas nenion nomatan malsano kaj *fartas bone*, tamen pro la kadukiĝo miaj okuloj kaj oreloj malfortiĝis, kaj apenaŭ povas fari nur kelkdek malfacilajn paŝojn kun kurbiĝinta talio, nur per helpo de bastono. Sekve mi estas tute izolita ne nur de esperantistoj, sed ankaŭ de miaj amikoj kaj konatoj en mia urbo. Esperanto nun estas la sola konsolo de mia finiĝanta vivo.

Mi petas vin transdoni mian koran kaj sinceran kondolencan al lia familio.

Dezirante al vi bonan sanon, salutas vin via sincere

*Rihej Nomura*

1月死去したS-ro 牧敏弘 は1961年富山で日本大会のために働いていた。この大会、実は私も参加していたが、彼については全く印象が残っていない。二十年後北海道に出てきた彼に「ここにいる」と当時の記念写真で教えられて初めて気がついた。晩年の彼の姿とはかなり違って、細身で精悍な感じの、22才の青年の姿がそこにあった。

この頃を知っていたS-ro野村とは時々文通もあつたらしい。今回の Nekrologo に対して上に

示す弔文が寄せられた。

S-ro 野村 は富山県城端市在住、エスペラント歴70年の veterano。「正しいエスペラント文を書けるように」と先に「エスペラント日常用語活用辞典」を出したが、1989年には50年来こつこつと整理してきたザメンホフの文例をまとめた“ZAMENHOFA EKZEMPLARO” (B5版512頁)を刊行して、“Japanujo ne ĉesos mirigini”とG. Waringhien(PV, PIV の編者)を感嘆させている。

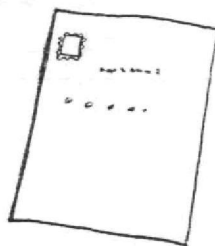
RICEVITAJ POŝTAJOJ DE HEL

(HEL 受領印刷物 - 星田)

\*Mejlstono N-ro 127, '95 januaro  
仙台エスペラント会機関誌、B5版8~12頁、  
2ヵ月刊、会費3000円/年。この号は12頁  
のうちエスペラント文は4ページにわたる連載物  
TRIUMFIS ESPERO, 作者は Heroldo de HEL にも寄  
稿している Ajuzak Arahavak. 行事記録を見ても  
HELから移ったカワハラさんの活躍ぶりがうか  
がえる。

\*MIA SPERTO PRI ESPERANTO(Hisao Nakamura)

B5X6頁、ESP. 文。筆者はHELを発足  
させた第1回北海道エスペラント大会(1932)を組  
織された中村久雄氏。1925年北大在学中に始まる  
70年のエスペラント経験を綴ったもの。当時の  
北大のグループ、第1回北海道大会、大本エスペ  
ラント普及会の活動、世界20数ヵ国を回って会っ  
てきた多くの samideanoj のことなど。なおこの  
コピーは S-ro 木村からHELに寄せられた。



Korektoj (N-ro55) 前号訂正

ENHAVO

FABELO POR BONAJ GEKNABOJ

よいこのためのおとぎばなし

作者名を⇒ Ajuzak Arahavak に

6

Nekrogo S-ro MAKI Tosihiro

⇒ Nekrologo S-ro MAKI Tosihiro に

18

訃報 Nekrologo

由仁町三川の新田為男さんが3月24  
日に御逝去されました。追悼記事は次号  
掲載の予定です。

Heroldo de HEL

第56号 (1995.3.31)

北海道エスペラント連盟機関紙

編集部

〒001 札幌市北区北12西1パークMS602

阿部映子気付 電011-756-2291

郵便振替口座

02700-6-17075

北海道エスペラント連盟